



銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～ 宮内中学校 学校だより

令和6年度 新宮中生徒会の新たな旅立ちに向けて・・・

「進取果敢」をスローガンに掲げ、これまでにない豊かな発想力と熱意溢れる行動力を示してくれた佐々木陽人生徒会長を中心とした令和5年度生徒会執行部……。本当に素晴らしい学校創造に奔走し、確かな成果を見せてくれたことに感謝いたします。

その思いと伝統を受け継ぎ、新生徒会執行部を決める生徒会役員改選が行われました。この間、全ての立候補者が堂々と自分の思いを体現し、今年度以上の宮中を創ろうとする意欲にとっても感激しました。来年度新生徒会の新たな活動と活躍を楽しみにしています。

令和6年度 新宮中生徒会執行部

○生徒会長	高橋春華さん	○事務局長	佐藤菜々葉さん	○美化委員長	東海林姫菜さん
○生徒会副会長	高野太喜さん	○生活委員長	高橋煌芽さん	○広報委員長	山口夢愛さん
○生徒会副会長	田中暖泰さん	○保体委員長	渡沢 陸さん	○応援団長	大滝 嵩さん
○議長	佐藤桃子さん	○学習委員長	高橋心菜さん		
○議長	竹田芽生さん	○給食委員長	佐藤守凜さん		

よろしくお願いします！！

祝 ニューイヤー駅伝大会出場権獲得！ ND ソフトアスリートクラブ渡邊監督に学ぶ！！

11月3日（金）に行われた東日本実業団駅伝大会にて、見事、悲願を達成した ND ソフトアスリートクラブの皆さん、ニューイヤー駅伝大会出場、おめでとうございます。

その報告を兼ねて、渡邊清紘監督が11月2日（火）の全校朝会にて私たちにメッセージをくださいました。3つの中学校の生徒の思いを込めた横断幕の御礼とともに、ご自身が今年度から就任した監督としての覚悟や選手の熱い想いを語ってくださいました。特に、「覚悟を決め、自らを律し貫くことが、目標達成につながる」という言葉から、ご自身の経験に裏付けられた重みと心の強さを教えていただきました。その言葉の重みを受け取った生徒諸君の激励応援も、大変熱のこもった応援になりました。

ニューイヤー駅伝（全日本実業団対抗駅伝競走大会）は、その名の通り、1月1日の元日、群馬県庁をスタート・ゴールとする100km7区間で行われます。残り1か月の中で、万全のコンディションに仕上げてください、大きな勇気と感動を与えるレース展開と勝利をもたらす大会になることを全校生でお祈りしています！ 頑張れ、ND ソフトアスリートクラブ！！



12月の主な予定

- 1日(金):生徒会主催クラスマッチ①
:児童生徒連絡協議会 Zoom
 - 5日(火):生徒会主催クラスマッチ②
:生徒研究発表会
 - 8日(金):生徒会中間総括会
 - 13日(水):大掃除
:Super Wednesday
 - 14日(木):3年三者面談開始
(~20日(水))
 - 16日(土):吹奏楽部アンサンブルコンテスト
:3年親子行事(合格祈願)
 - 25日(月):2学期終業式
:進路激励会
 - 26日(火):年末年始休業(~8日)
:生徒会リーダー研修会①
:南陽みらい議会
 - 27日(木):生徒会リーダー研修会②
- 来年も、よいお年をお迎えください……。**

“中学生ふるさとづくり作文コンクール”でも大活躍

南陽市の偉人、結城豊太郎先生の遺徳に学ぶとともに地域の良さを見直し、地域づくりや国づくりへの思いをしたためてほしいとの願いが込められた標記コンクール。その中で、2年高野太喜さんの作品が見事、最優秀賞に輝くとともに、ほか5名の作品が入賞しました。館長の鈴木かねえ様より賞状を手交いただきとともにたくさんのお褒めをいただきました。入賞された皆さん、おめでとうございます。

南陽市立結城豊太郎記念館 第9回中学生ふるさとづくり作文コンクール入賞作品

最優秀賞	「頂上にたどり着くには」	2年 高野太喜さん
優秀賞	「私たちの明るさで地域をかえられる」	3年 秋保心音さん
佳作	「誰かのために働く」	2年 安達はなさん
	「私が目指す生き方」	2年 加藤朱葵さん
	「支え合って生きていく」	2年 落合 蓮さん
	「心に刻んだ言葉」	2年 佐藤守凜さん

※奨励賞も受賞



全校道徳「竹中俊氏」のお話から学ぶ……

11月27日(月)、全校道徳として、竹中俊氏をお迎えし、「ネパールで孤児院運営物語 ～世界の貧困と環境問題～」のテーマで講演していただきました。日本での生活では想像しがたい文化の違いや環境の違い、ひょんなことから自分の生きがいを見出すきっかけとなった旅の連続など、心動かされるお話をたくさん聞かせていただきました。



後期中間テストが終わって……

自分の学びを振り返るとき……

十一月二十八日(火)の全校朝会にて、努力賞の表彰を行いました。努力賞受賞の皆さんの頑張りだけでなく、努力賞まで届かなかったとしても、自分なりに計画を立て努力を通じたという頑張りも必ずあったはず……その事実を大事にしてください。

さて、結果はもちろん大事ですが、その結果に至った自分の学びの姿はどうだったでしょうか？もう一度、自分自身の学びを振り返り、できたことはさらに伸ばしてほしいと思います。かつて中二の時、社会のテストで「冢川家康」と書き、点数以上にとても悔しい思いをしたことは今でも忘れられません。まもなく二学期も終了。自分の学びの「強み」と「弱み」を明確にすることから始めてみませんか……。

「校長の独り言……」

先日、熊野大社に行ったところ、大銀杏の黄色い葉っぱがだいぶ落ちてきているのを目にしました。いよいよ、雪が降ってくるのでしょうか……。

さて、おおよそ1ヶ月前に、文化祭を行いました。地域文化体験講座では、地域の方々に講師にお招きし、生徒も楽しいひと時を過ごさせていただきました。その講座で講師をお努めいただいた方から、一通のお手紙を頂戴したので、ご紹介させていただきます。(所々、略させていただきます)

「宮中祭スローガン「本気」、今年もお招きいただき感謝申し上げます。スローガン通り「本気」で参加下さった生徒さん達、皆さん明るく仲睦まじく、お互いに手を差し伸べながら楽しく帯結びしている姿が、心から微笑ましく拝見しました。皆さん、「本気」でしたね。心暖かくなる文面の感想文が手元に届きました。集合写真も一緒です。大変立派な写真、恐縮しております。皆さんの感想文を拝見して、心が温かくなってきました。この頃、暗いニュースが続いている中で、心がほっこりしています。皆さんの胸の片隅に思い出のページにでも残ってもらえたらうれしく思います。来春はぜひ、宮中の皆様に満開の桜が咲き誇れますことを心から願っています。」

このようなお手紙は、人の心を温かくしてくれるだけでなく、勇気も与えてくれます。宮中生がこのように見守っていただけていることに、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。